

## コロナ中医対策のLiVe交流会～2（参加後の整理）

主催： 日本中医会 中華中医中医会

後援 中国駐日本大使館領事部など

開催日： 2020年4月25日（土） 19：00～ 21：00（22：00）

講師： 劉清泉先生（北京中医医院院長）

司会： 戴先生（日本中医会 国際交流委員会委員長 香港浸会大学主任中醫師）

### <講演内容要約>

#### ◆ 病因、病機について

##### 病因：

湿邪 ～ 湿邪（特徴）（脾に影響するこも）

癘気（毒） ～ 疫気（根本）

総じて、湿+毒⇒「湿毒疫癘気」で、熱化、寒化、燥化になる多様。

季節の気候の変化（地球温暖化）などは誘因！

##### 病機：

湿、毒；痰、瘀：閉厥脱

湿毒⇒ 困脾鬱肺 太陰経

蘊熱阻肺 陽明経 毒火⇒肺、傷津耗気

肺、以外の心、肝、腎

#### ◆ 治療原則

考え方：肺腸同治 ⇒ 瀉肺、通腑（大腸） 通因通用

##### 祛邪扶正

祛邪： 発汗 清熱 解毒 化痰 活血

扶正： 増液（救陰） 通陽 益気 固脱； 醒神 開竅

#### ◆ 治療経験

##### <軽症>

- 1, 症状特徴：
- ① 発熱、など？
  - ② 空咳、ひどく話しもできないくらい
  - ③ だるい、喘息、階段へ息苦しい
  - ④ 血中酸素 93%以下 CPR 上昇  
舌～胖大、紫暗 苔～ 厚膩など

※ 早期に、脾胃の症状が顕著、だるい、軟便など、肺の症状が出ないケースが多く。  
また、肺の症状が現れるまで約 10日くらい？

## 2, 分析：

武漢の場合； 湿が多い地方？

温疫病 + 濁気

基本治法： 化湿 清熱 解毒

臨床方剤： 金花清感顆粒 蓮花清温膠囊（カプセル）

## 3, 治法： 症状類似の場合 年齢問わず

「化湿 解毒避？」 「清熱 活血」 + 増液（粘りの痰が解決）

### ☆日本においては

藿香正気散 + 麻杏甘石湯 多めに使う、+ 大黃

※ 冷える場合？ 桂枝湯

※ お腹が冷える場合 理中丸:人參 3;甘草 3;白朮 3(蒼朮も可);乾姜 2-3

## 4, 推薦治療方剤：基本方剤；

銀翹散： 甘露消毒丹： 麻杏甘石湯： 藿香正気散： など

### ☆予後の評価基準：

普通型、入院患者：

- ① 臨床症状特徴（発熱、だるさ、咳嗽）持続時間（日数）、症状が消失率など
- ② 肺の画像（CT）の評価、良くなる比例臨床治癒率
- ③ PCR（核酸）陰性へ変わる時間（日数）

### ◆ 予防については？

<漢方薬> 「扶正去邪」の考え；

#### A 扶正薬：

補気薬： 人參 西洋人參（中高年に良い） 黄耆など

#### B 祛邪薬：

1, 清熱解毒薬： 金銀花 菊花 桑葉など 3～5 グラム

2, 健脾・化湿薬 陳皮、 蒼朮 (小豆?)

草果 砂仁 生姜など (山椒?)

### ◆ 針灸が今回のコロナ治療への効果など？

救急において、心不全、喘息などは 温灸が良さそうです。

膻中、中脘 関元 大椎 腎兪などに経穴など